

横浜から「いま」の音楽が誕生、 歴史ある現代作曲家シリーズを今年度も開催します

気鋭の日本人作曲家への新作委嘱（世界初演）と過去の委嘱作品の再演を軸とする「Just Composed in Yokohama－現代作曲家シリーズ」。1999年から開催している本シリーズを今年度は2公演開催します。

新作の初演は一度限り。横浜で生まれる「いま」の音楽をお届けします。

■ Just Composed 2023 in Yokohama ー現代作曲家シリーズー

Winter



2023年1月28日（土）17:00

驚異の声、驚異の言葉－未体験の音空間へようこそ！

出演：西川竜太（指揮）

ヴォクスマーナ（声楽アンサンブル）

委嘱作曲家：桑原ゆう

※2020年3月に予定していた公演を延期開催いたします。

Spring



2023年3月11日（土）15:00

Shimmering Water－ストーリーズ

出演：福間洸太郎（ピアノ）

目等貴士（ティンパニ）

委嘱作曲家：茂木宏文

会場 横浜みなとみらいホール 小ホール

料金 全席指定 2公演セット券 5,000円

単独券 3,000円 65歳以上の方・障がい者手帳をお持ちの方 2,800円 学生 1,500円

申込 横浜みなとみらいホールチケットセンター ☎045(682)2000 ※10:00-17:00(休館日・保守点検日除く)

主催 横浜みなとみらいホール(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)

共催 横浜アーツフェスティバル実行委員会

助成 文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

※当事業の取材・情報掲載をお願い申し上げます。情報掲載の際はお手数ですが事前にご一報ください。

このプレスリリースに関するお問合せ

横浜みなとみらいホール 〒220-0012 横浜市西区みなとみらい 2-3-6

電話：045(682)2020 ※10:00-18:00 (休館日・保守点検日除く) E-mail：pr_mmh@yaf.or.jp

広報担当：福岡綾子、伊藤啓太 事業担当：佐々木真一、白川美帆、遠藤れな

■各事業の注目ポイント

1. 横浜から「いま」の音楽が誕生

気鋭の作曲家への委嘱新作を毎回発表（世界初演）し、「いま」の音楽を横浜から生み出すことが一つの大きな柱になっている本シリーズ。今年度も、名だたるコンクールでの受賞を機に目覚ましく活躍の場を広げ、大きな期待が寄せられている作曲家2名の新作をお届けします。

1月28日「驚異の声、驚異の言葉」公演

委嘱作品

桑原ゆう：「古事記」からの抜粋による
《名づけのうた》



2021年第31回芥川也寸志サントリー作曲賞受賞。国内外で委嘱を受け、世界各地の音楽祭や企画で作品が取り上げられている。声明、神楽、民俗儀礼等の取材を重ね、日本の音と言葉を源流から探り、文化の古今と東西をつなぐことを軸に創作を展開。楽譜はドイツでも出版されている。

3月11日「Shimmering Water」公演

委嘱作品

茂木宏文：タイトル未定
(12月末 完成予定)



2016年武満徹作曲賞第1位、2017年第27回芥川作曲賞受賞。そのほか2014年第3回山響作曲賞21、2015年ヴァレンティノ・ブッキ国際作曲コンクール、2015年奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門等国内外で優勝・入賞を重ねている。

2. 毎公演ごとに変わる楽器やテーマ

委嘱作曲家を選定するのは、作曲家 池辺晋一郎、音楽学者・白石美雪に、出演演奏家を加えた3人の選定委員。演奏家が入り替わることによって様々な楽器で多様なテーマを取り上げます。

1月28日「驚異の声、驚異の言葉」公演

選定委員：西川竜太（指揮）



東京藝大在学中、1人1パート編成の声楽アンサンブル「ヴォクスマーナ」を創設し、指揮者に就任。音楽の新しい時代の創造を目指し、作曲家と協力して200作品を初演。2012年第21回朝日現代音楽賞、2018年第30回ミュージック・ペンクラブ音楽賞（クラシック「現代音楽部門」）を受賞。

新作初演のエキスパートとして高い評価を得る西川とヴォクスマーナが出演。声を自在に操り、言葉を音として紡ぐ最大12名12パートが織りなす緻密なアンサンブルはまさに聴くものを未体験の音空間へ誘います。

3月11日「Shimmering Water」公演

選定委員：福間洸太郎（ピアノ）



©Marc Bouhiron

20歳でクリーヴランド国際コンクール優勝（日本人初）。これまでにカーネギーホール、リンカーンセンター、ウィグモアホール、サントリーホールでリサイタル他、クリーヴランド管、イスラエル・フィル、NHK交響楽団など国内外の著名オーケストラとの共演も多数。

自身の名前“洸”から連想される「きらめく水」をテーマに水にまつわる作品をプログラミング。日本からヨーロッパまで様々な作曲家の作品から、幻想的な水路の旅を展開します。

3. 過去の委嘱作品を再演、次代へつなぐ

新作を初演するだけでなく、本シリーズで誕生した作品を再演することもまた柱の一つ。再演を重ねることで作品の価値を高め、次代へその作品をつなぎます。

1月28日「驚異の声、驚異の言葉」公演

再演作品

川上 統：Chor Rhinogradentia～《鼻行類について》より
(Just Composed2014 委嘱作品 | 本公演編曲委嘱 初演)

3月11日「Shimmering Water」公演

再演作品

田中カレン：クリスタリーヌⅡ
(1995年度 横浜市「日本の作曲家シリーズ」委嘱作品)